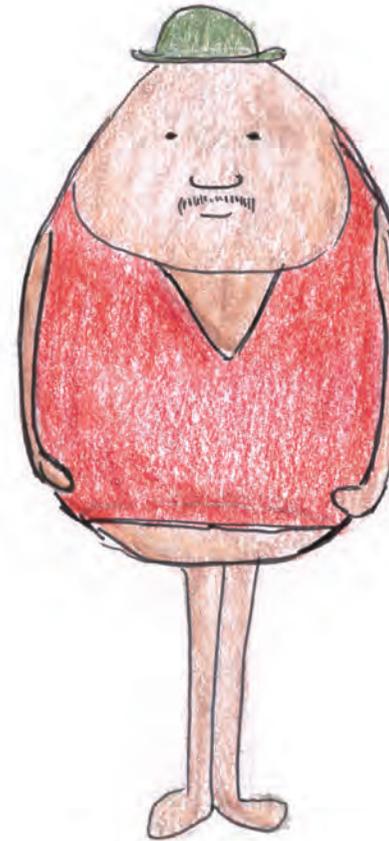
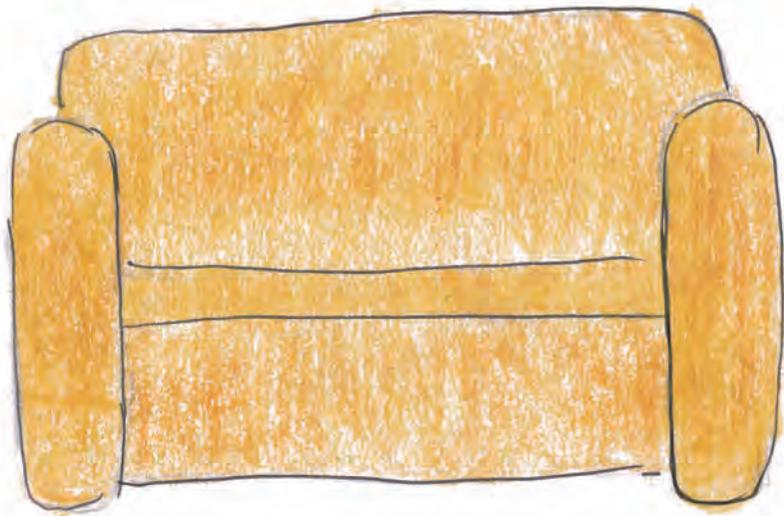
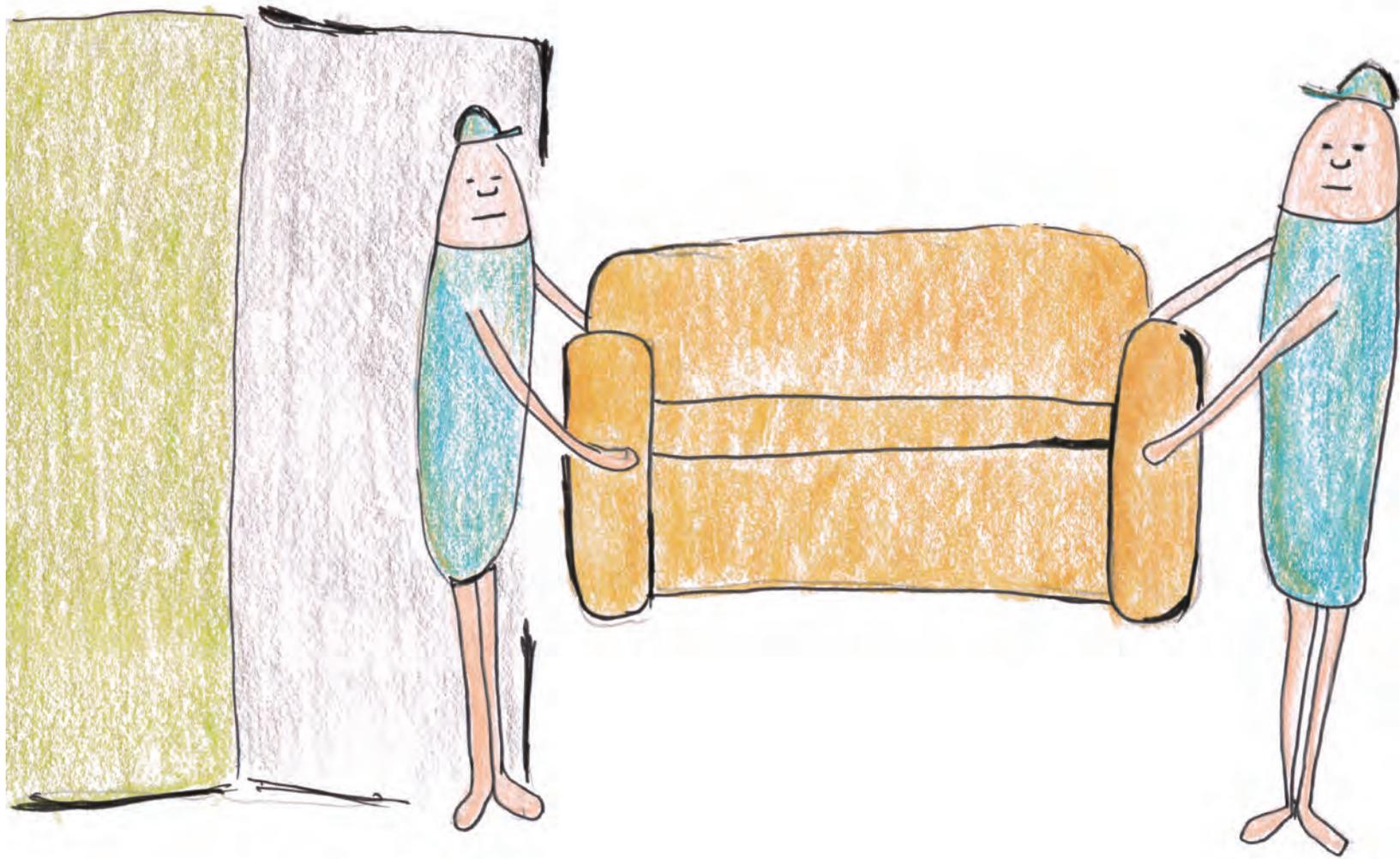


「どこにおく？」

作・絵 野口 雄也





ふうふのいえにあたらしいソファがとどきました

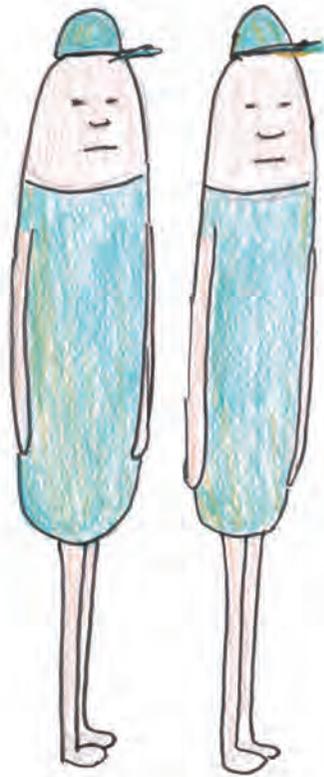
だんなさまはいいました

「はたしていったいどこにおく？」

おくさまはニコリとわらってこたえます

「もちろん あそこですとも」





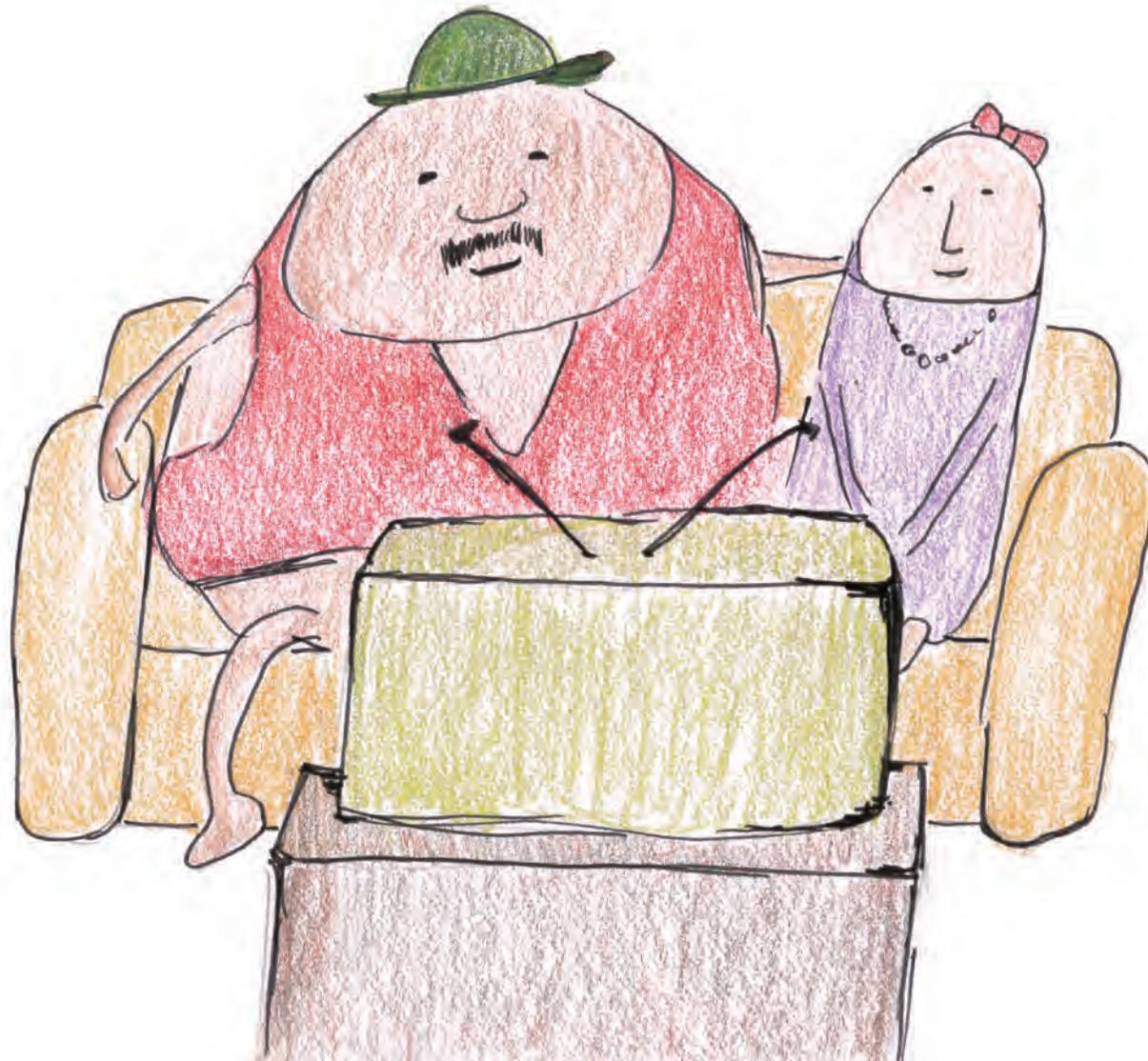
テレビのあるへやにおかれたソファ

だんなさまはいいました

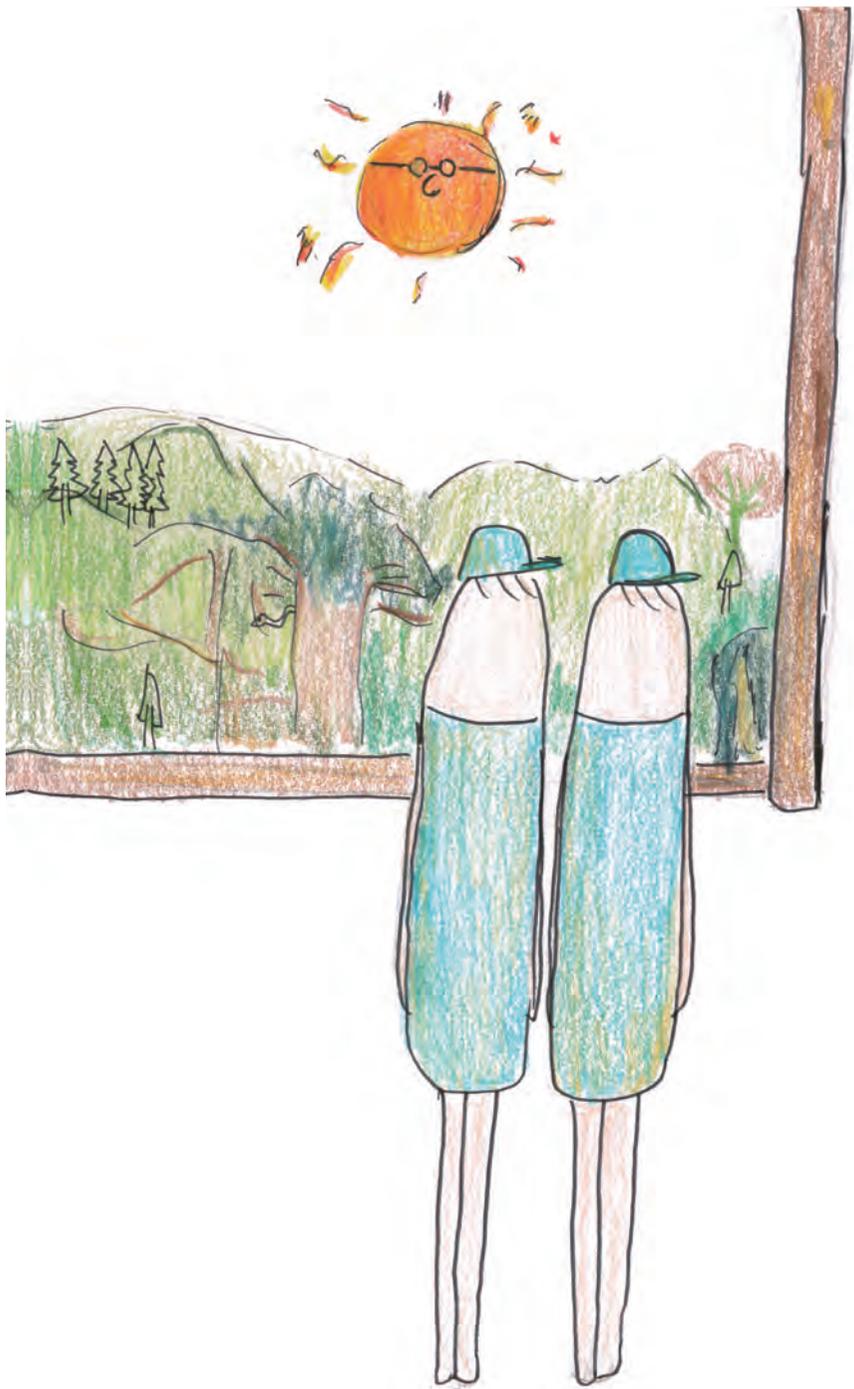
「テレビがよくみえるし ちょうどいい」

おくさまはなんどかうなずき こういいました

「そうね だけども ここもいいけどあそこはどうかしら？」







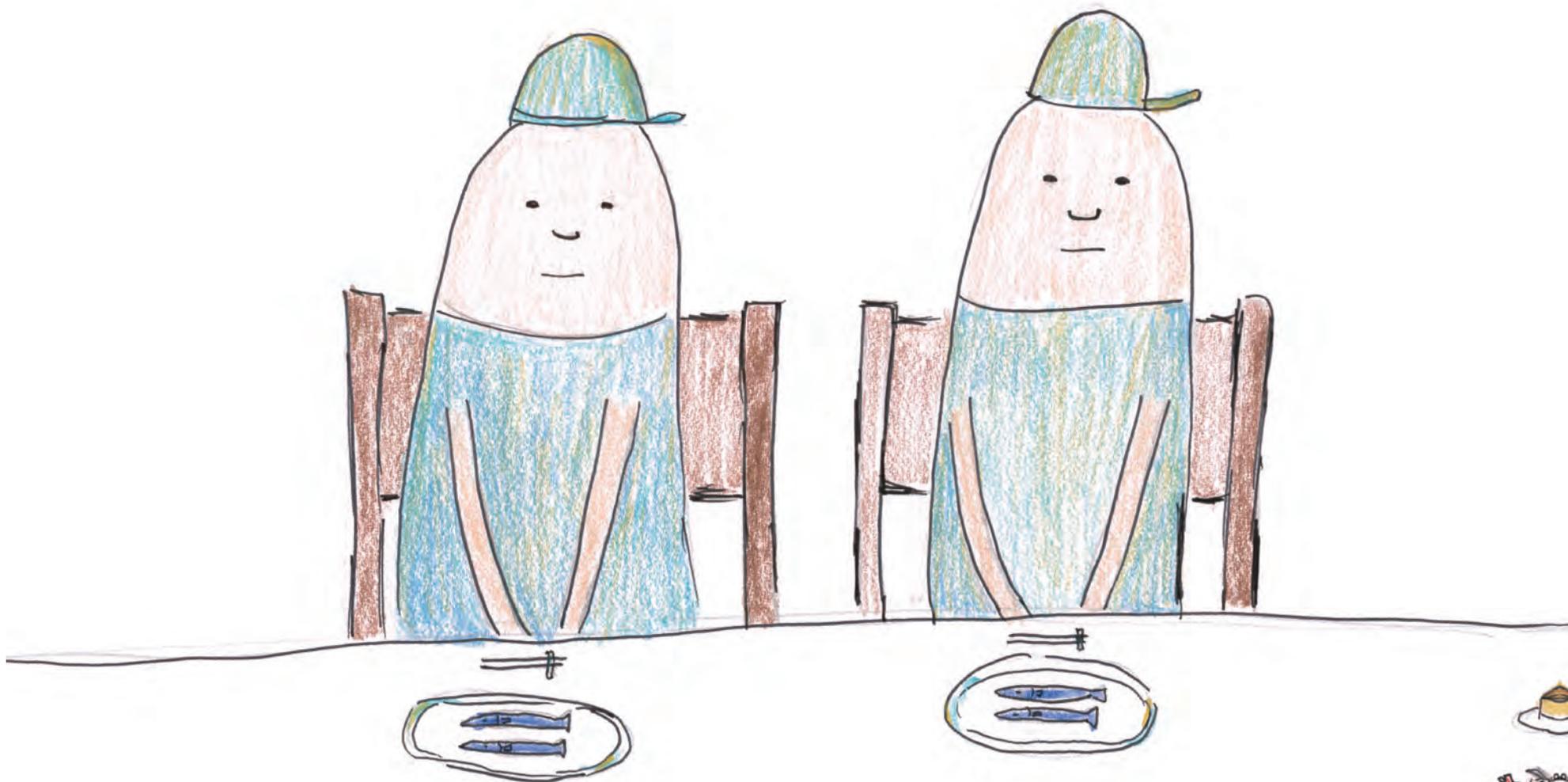
おおきなまどのそばにおかれたソファ

だんなさまはいいました

「まどからけしきがよくみえる　ここはさいこうだ」

おくさまはおおきくうなずいていいました

「ほんといいけしき　だけどもあそこだったらどうかしら」



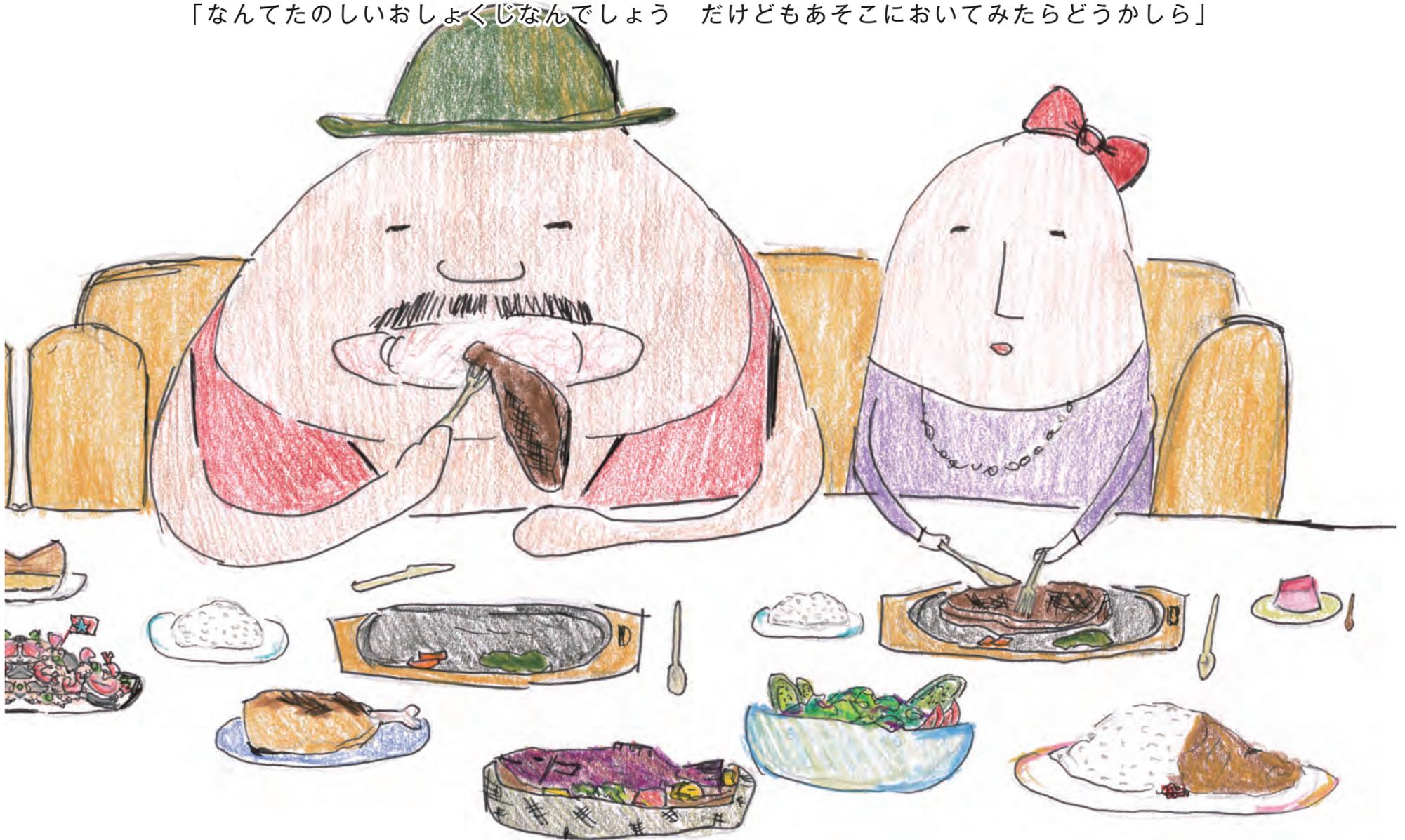
しょくたくにおかれたソファ

だんなさまはいいました

「なかよくよこにならんでしょくじができる　ここにきまりだな」

おくさまはおいしそうにしょくじをたのしみながらいました

「なんてたのしいおしょくじなんでしょう だけどもあそこにおいてみたらどうかしら」







トラックでソファがはこばれます

いったいどこにおくのでしょうか

だんなさまはいいました

「かぜがとってもきもちいいな　ここにおいてもいいかもな」

おくさまはながれるけしきをみながらいいました

「てんきがよくてきもちいいわ　あそこにおいたらきっとステキよ」



はまべにおかれたソファ

だんなさまはいいました

「うみがとってもおおきいな ここにおいたらつりもできる」

おくさまはゆうひにそまるうみに うっとりしながらいいました

「あなたはうみが好きでしたよね けどもあそこはどうかしら」





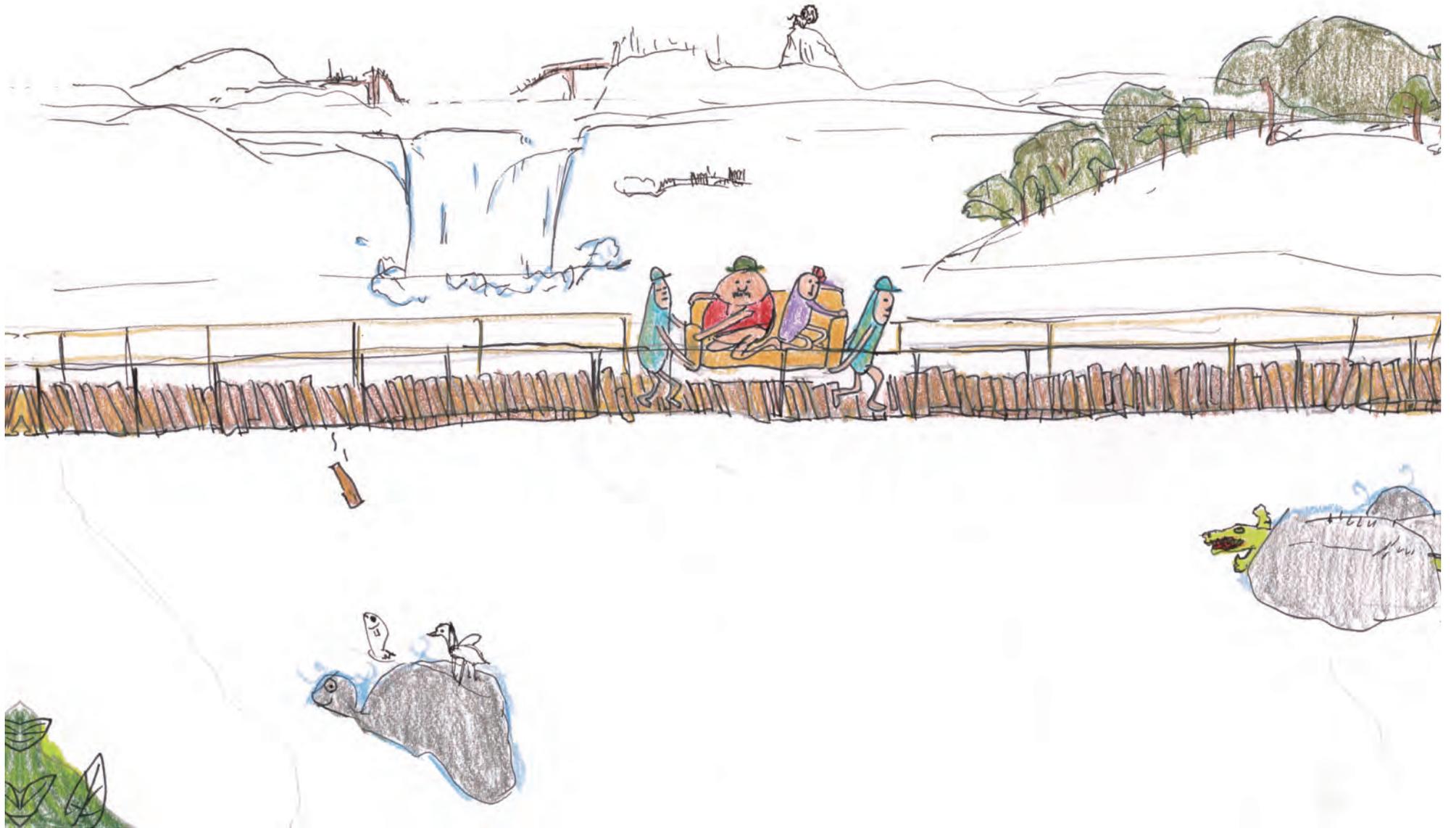
ソファはつりばしをわたります

だんなさまはいいました

「したをみちゃあ いけないよ」

おくさまはいいます

「うっかりさきほどみちゃったわ」



「どこにおく〜？」





「あそこのばしょよ~」



おおきなやまのてっぺんの おおきなきにおかれたソファ
だんなさまはいいました
「ここにおいたらいいかもね きみとぼくがであったばしょだ」



おくさまはいいました

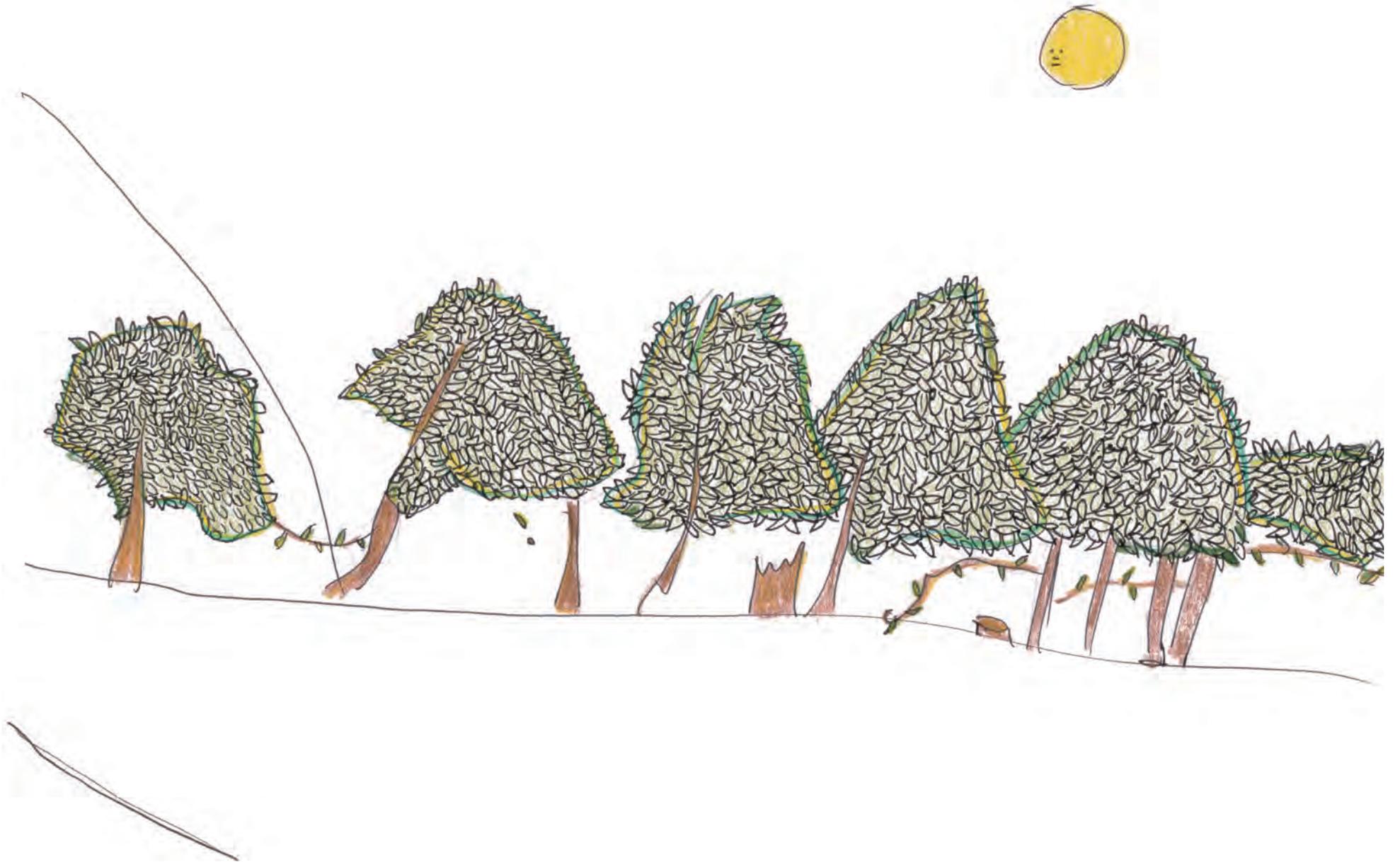
「あなたとわたしがであったばしょね　ここにおけたらいいですね」

つきがおそらにのぼってきました

2人はしずかにすわっています



あたりはくらくなくなってきました
ソファはどこにおくのでしょうか？



だんなさまはいいました

「どこにおく どこにおく？」

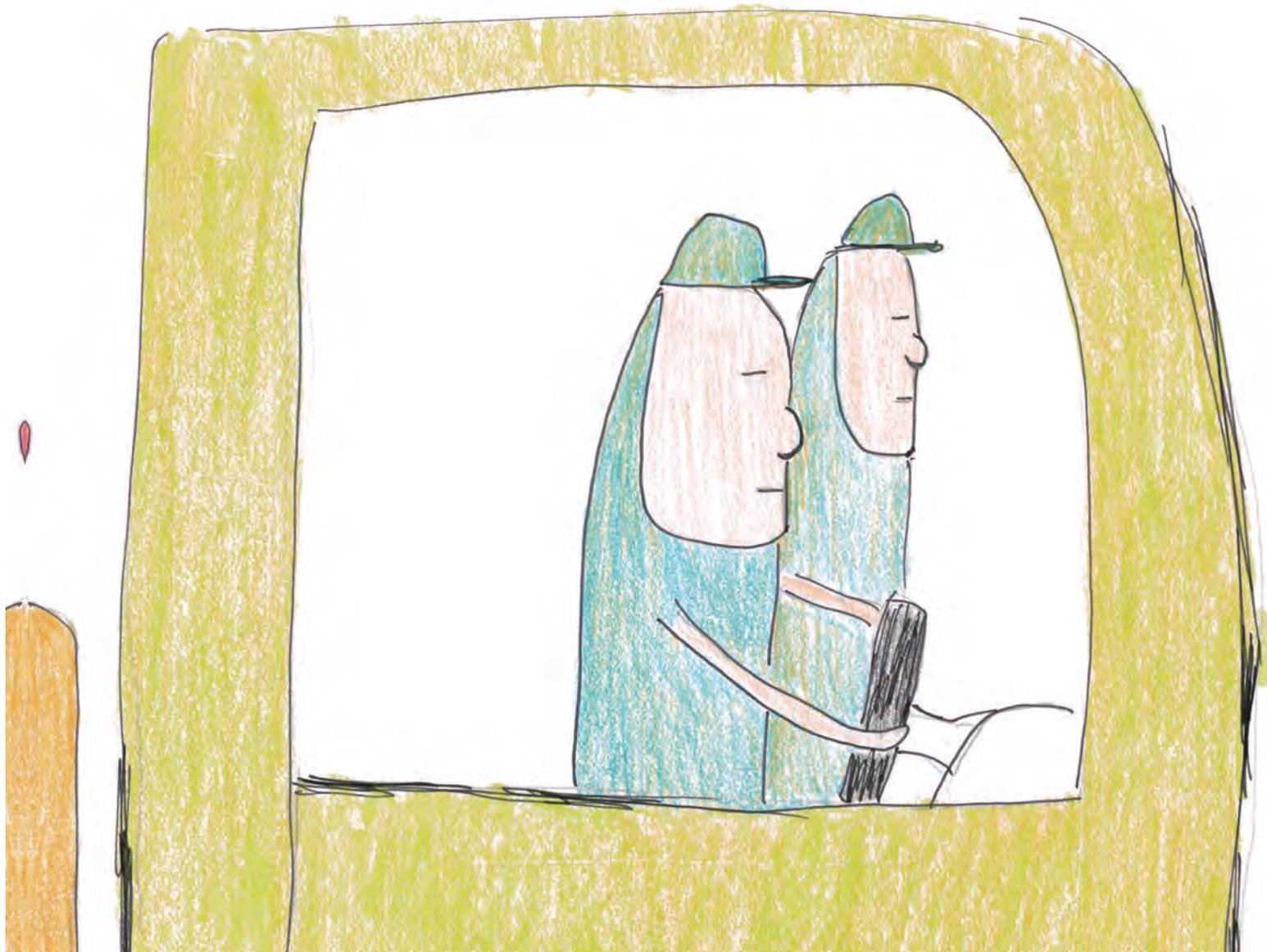
おくさまはいいます

「そうね どこにおきましょう？ あしたになったらまたかんがえましょ」

つかれたふうふはねむります

ソファはトラックでどこに行く？





ベッドのよこにおかれたソファ

ふうふは ぐっすりゆめのなか

「きみたちだったら どこにおく？」

ふうふがねごとでいいました



2014年2月23日発行

著者 野口 雄也 発行者 株式会社 NOYES

第2回 NOYES 絵本コンクール 大賞作品